

平成25年度・26年度(2013年4月～2015年3月)

1.所在地

北海道釧路市春湖台1番7号 電話0154-41-5809
Fax 0154-42-6000 museum@city.kushiro.lg.jp

2.運営

(1)職員(平成27年3月1日現在)

博物館担当

館長	木村 俊宏	
学芸主幹(学芸員)	山代 淳一	[地学(貝化石)]
館長補佐	黒坂の美子	
館長補佐(学芸員)	戸田 恭司	[歴史(地域史)]
主査	福岡 明子	
主査(学芸員)	土屋 慶丞	[昆虫(地域昆虫相)]
主査(学芸員)	石川 孝織	[産業(資源)]
主任(学芸員)	加藤ゆき恵	[植物(生態・分類)]
主事(学芸員)	野本 和宏	[魚・両生類(生態)]
主事(学芸員)	貞國 利夫	[鳥・哺乳類(鳥類生態)]

埋蔵文化財調査センター

埋蔵文化財主幹	木村 俊宏	
埋蔵文化財副主幹(学芸員)	石川 朗	[考古]
主査(学芸員)	高橋 勇人	[考古]
主任(学芸員)	澤田 恭平	[考古]

(2)予算

平成25年度

姉妹都市提携50周年記念事業費	844千円
文化振興基金積立金	110千円
文化財保護費	1,905千円
埋蔵文化財調査センター管理運営費	450千円
春採湖ヒブナ研究事業費	111千円
北斗遺跡施設管理費	5,217千円
博物館管理運営費	21,031千円
資料収集整備費	86千円
自然観察会等教育普及活動費	346千円
特別展「私の博物館」開催費	232千円
調査研究費	367千円
新館30周年記念事業費	480千円

平成26年度

文化振興基金積立金	120千円
文化財保護費	2,445千円
史跡管理費	2,590千円
埋蔵文化財調査センター管理運営費	353千円
春採湖ヒブナ研究事業費	125千円
北斗遺跡施設管理費	5,367千円
博物館管理運営費	22,351千円
資料収集整備費	88千円
自然観察会等教育普及活動費	494千円
特別展「私の博物館」開催費	232千円
地域の魅力創造事業費	887千円

3.刊行物

釧路市立博物館館報：昭和27年創刊、平成27年3月に415号を発行(B5版、12ページ、年2回刊行)

釧路市立博物館紀要：昭和47年創刊、平成26年3月に第35輯を刊行

釧路市立博物館解説シリーズ「釧路の植物(改訂版)」：新庄久志・加藤ゆき恵著、平成26年3月刊行(32ページ)

釧路市立博物館解説シリーズ「釧路のあゆみと産業」：戸田恭司・石川孝織著、平成26年3月刊行(54ページ)

釧路市緑ヶ岡1遺跡・材木町3遺跡一具塚材木町環状準幹線配水管布設工事用地内工事立会調査報告書一：平成27年3月刊行

企画展記録集「阿寒国立公園と硫黄鉱山」：石川孝織編著、平成27年3月刊行(98ページ)

4.助成・支援を受けた事業・研究

<石川孝織>

公益財団法人労働問題リサーチセンター研究助成「炭鉱労働運動の源流と終焉」(共同研究者/代表：中澤秀雄・25年度)

<加藤ゆき恵>

北海道博物館協会学芸職員部会調査研究助成「釧路市立博物館所蔵1920年代植物標本群の実態解明」(26年度)

植生学会奨励賞受賞(26年度)

<野本和宏>

北海道博物館協会学芸職員部会調査研究助成「釧路川水系イトウ繁殖実態調査事業」(26年度)

5.学芸員の社会活動等

5-1.外部委員等

<石川孝織>

早稲田大学総合人文科学研究センター 招聘研究員
一般財団法人資源・素材学会 採掘部門委員会岩層ガス採掘小委員会 委員

ジオ・フェスティバルin Kushiro 実行委員(事務局)

釧路湿原再生協議会 委員(水循環小委員会)

<加藤ゆき恵>

植生学会第18回仙台大会 研究発表賞審査委員(25年10月)

植生学会誌査読者(25年度)

釧路湿原自然再生協議会 委員(湿原再生小委員会、森林再生小委員会)(25年11月～)

莎草研究(すげの会会報) 査読者(26年度)

<野本和宏>

釧路湿原自然再生協議会 委員(旧川復元小委員会、湿原再生小委員会)(25年11月～)

日本魚類学会英文誌Ichthyological Research 査読者(25年度)

<貞國利夫>

釧路湿原自然再生協議会 委員(再生普及小委員会)(25年11月～)

NP0 法人タンチョウ保護研究グループ運営委員(25年12月～)

釧路総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会 委員(25年度～)

<石川 朗>

(仮称)古代の里整備基本構想検討委員会委員(25年度)

日本考古学協会伊達大会実行委員会実行委員(25年度)

<高橋勇人>

北海道考古学会地区委員(25・26年度)

指定文化財管理(文化財パトロール)における文化財調査員(25・26年度)

5-2.外部協力

<山代淳一>

阿寒生涯学習課自然観察会 講師(26年度)

JICA アフリカ青年研修事業 研修講師(26年度)

阿寒学講座 阿寒の化石発掘体験学習会(26年度)

<戸田恭司>

釧路教育センター初任者研修講座「釧路市の教育」 講師(25・26年度)

生活第一学校(市民団体研修会) 講師(25年度)

博物館ボランティアの集い2013 講師(25年度)

<土屋慶丞>

科研費・基盤研究(C)「他種ズメバチに社会寄生するチャイロスズメバチの分布域と生息密度の増大の要因解明」(代表佐山勝彦) 調査協力

前田一歩園観察会 講師(26年度)

<石川孝織>

科研費・基盤研究(C)「石炭産業終息期における炭鉱と地域社会：“最後のヤマ”のライフコース」(課題番号：24530674、研究代表者・嶋崎尚子) 研究協力者(25年度)

科研費・基盤研究(A)「東アジア産炭地の再定義：産業収束過程の比較社会学による資源創造」(課題番号：26245059、研究代表者：中澤秀雄) 研究協力者(26年度)

早稲田大学文学部「社会学演習」招聘講師(25・26年度)

早稲田大学文学部社会学コース 嶋崎研究室 ゼミ合宿受け入れ・指導(25・26年度)

産炭地研究会(代表：中澤秀雄) 共同研究(25・26年度)

釧路市子ども遊学館 おひさまゼミナール「くしろ石炭体験隊！」 講師(釧路市立博物館共催)(25年度)

北海道高等学校理科研究会釧路支部研修会「釧路の石炭」講師(25年度)

釧路地方社会科教育研究会夏季研修 講師(25年度)

彩の会(くしろ市民大学OB・OG)講演会「釧路におけるエネルギーの歴史と将来」 講師(25年度)

北海道大学鉄道研究会夏季合宿 講師(25年度)

北海道電力釧路支社「エネルギー施設見学会」(教職員向け) 講師(25年度)

うらほろスタイルゼミナール(浦幌町公民館)「黒いダイヤ物語」 講師(25年度)

釧路市教育振興会 教育講演会 講師(26年度)

日本科学史学会ミニシンポジウム「炭鉱遺産の現状と将来展望」コメンテーター(26年度)

釧路商工会議所青年部エネルギービジョン創造委員会 講師(26年度)

釧路地方の地名を考える会 バス探索会 講師(26年度)

データベース+会例会「日本で唯一稼働している海底炭鉱『釧路コーラルマイン』」 講師(26年度)

The JR Hokkaido (JR北海道車内誌) 2014年1月号 特集「生きている『ヤマ』」取材協力(25年度)
 京都三条ラジオカフェ「まいど教授の日本社会へのエール!」出演(26年度)
 <加藤ゆき恵>
 霧多布湿原センター「ハーバリウム霧多布」講師(25・26年度)
 国立科学博物館S-Net データ提供主務(25・26年度)
 <野本和宏>
 「みんなで調べる復元河川の環境・夏2013」(主催:釧路国際ウェットランドセンター 25年7月14日) 調査協力
 公益信託地球環境日本基金「ロシア連邦サハリンにおけるイトウの資源状況把握と生息環境保全の取り組み」オホーツク魚類研究会 調査協力(〜25年6月)
 「不思議がいっぱい!フナ生態学」月刊つりびと2015年5月号 No.827 釣り人社発行(東京)取材協力(26年度)
 くしろ市民大学講師(25年度)
 前田一步園財団普及啓発事業「ネイチャーウォッチング/実体験型自然観察会」講師(26年10月11日)
 <貞國利夫>
 NPO 法人タンチョウ保護研究グループ「タンチョウ捕獲調査」「タンチョウウカウント調査」協力(25・26年度)
 釧路空港鳥衝突会議防止連絡協議会 講師(26年度)
 山花公園オートキャンプ場探鳥会 講師(26年6月)
 こどもエコクラブくしろ エコ活動 講師(26年度)
 <石川 朗>
 釧路市北斗遺跡ふるさと歴史の広場指定管理者自主事業「北斗遺跡親子見学会」講師(25年度)
 北海道考古学会50周年記念大会ポスターセッション講師(25年度)
 <高橋 勇人>
 科研費・基礎研究(B)「千島列島における先史文化の考古学的基礎研究一特に北方四島を中心に」色丹島調査 研究協力者(25・26年度)
 <澤田 恭平>
 北海道エアシステム 経営企画部 取材協力(26年度)
 <共通>
 市立北陽高校フィールド制授業講師:博物館全学芸員(25・26年度)
 北海道教育大学釧路校非常勤講師:博物館全学芸員(25年度)
 発明クラブ:山代・土屋・加藤・貞國(26年度)
 釧路本線ジオトレン(主催:釧路本線活用推進協議会)講師:石川孝・加藤・貞國(26年度)
 環境省環境総合推進費「釧路湿原にて超高密度化状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術」[道総研環境科学研究センター・釧路公立大・酪農学園大]:貞國・加藤・野本・土屋(26年度)
 まなぼつと釧路学教養講座講師:戸田(25年度)・石川孝(25・26年度)・石川朗(26年度)
 まなぼつといきいき女性講座講師:石川朗・高橋・加藤(25・26年度)
 阿寒シルバー大学講師:石川朗・戸田・石川孝(25年度)・山代・土屋・貞國(26年度)
 釧路湿原シニア大学講師:山代・加藤(26年度)
 釧路湖陵高校SSH オーストラリア海外研修事前学習:土屋・加藤・貞國(26年度)
 国立科学博物館S-Net データ提供:加藤・土屋(25・26年度)
 釧路湿原国立公園パークボランティア研修会講師:山代・貞國(25年度)
 FMくしろ「motto museum」出演:山代・戸田・石川孝・加藤・野本・貞國・高橋・澤田(25年度・26年度)

5-3.出前授業講師(小学校~高校)

白糠高:石川孝(25年度) / 愛国小:加藤・野本(25年度) / 朝陽小・湖畔小:戸田(25年度)・石川孝(26年度) / 興津小:石川孝(25年度) / 芦野小・青葉小・清明小:戸田(25・26年度) / 釧路小・鳥取西小:戸田(26年度) / 城山小:高橋(26年度) / 北海道教育大学附属釧路小:高橋・澤田(25・26年度)

5-4.研究発表等

<戸田恭司>
 戸田恭司(2014)「釧路のあゆみ」「釧路の産業」. 釧路市立博物館解説シリーズ:釧路のあゆみと産業, p3-22. 釧路市立博物館.
 <土屋慶丞>
 土屋慶丞(2013) 釧路市内におけるスズメバチ生息調査. 北海道博物館協会学芸職員部会平成24年度調査研究助成報告書.
 土屋慶丞(2014) 釧路市内におけるアサギマダラの記録. 月刊むし, 522: 58.
 <石川孝織>
 石川孝織(2014)「釧路炭田 炭鉱(ヤマ)と鉄路と」. 水公舎.
 石川孝織編著(2015)「阿寒国立公園と硫黄鉱山」. 釧路市立博物館.
 石川孝織(2014)「釧路の産業」. 釧路市立博物館解説シリーズ:

釧路のあゆみと産業, p23-50. 釧路市立博物館.
 石川孝織・藤原芳夫(2013) 釧路から筑豊、戦時下「急速転換」係員の日記. エネルギー史研究[九州大学], 28: 67-187.
 石川孝織(2013) 石炭技研自走支保研究室=秋元高義氏の証言から=. 常磐炭田史研究, 10: 45-55.
 石川孝織・境智洋・釧路本線ジオマップ制作委員会・七山太(2013) 釧路本線ジオマップのご紹介. GSJ 地質ニュース, 2(4): 116-118.
 石川孝織(2013) 釧路コールマイン(株)釧路炭鉱の採炭切羽(表紙写真). GSJ 地質ニュース, 2(6).
 石川孝織(2014) 釧路炭田における戦時下『急速転換』に関する記録書類. エネルギー史研究, 29: 97-101.
 石川孝織(2014) 北と南、2つの30周年を迎えた博物館が生んだ全国産炭地の再結集. 田川市石炭・歴史博物館だより, 10: 4.
 境智洋・石川孝織(2014) 釧路本線ジオマップ・ジオトレンの取り組み. 地学教育と科学運動, 71: 46-50.
 石川孝織(2012.9-2014.2)「記憶の1枚『再発見・釧路炭田』」北海道新聞(釧路版)連載(全70回)
 <加藤ゆき恵>
 Fukuda, T., Kato, Y., Sato, H., Taran, A.A., Barkalov, V.Yu. & Takahashi, H. (2013) Naturalization of *Cakile eduntula* (Brassicaceae) on the beaches of Kunashiri and Etorofu Islands - The first record for the species from Kuril Islands. Journal of Japanese Botany, 88: 124-128.
 加藤ゆき恵(2013) 最近の博士学位論文から 北方系スゲ属植物の分布と生態に関する研究. 植生情報, 17: 56-57.
 Kato, Y. & Fukuda, T. (2014) Flora list of Stolbovskiy (Shimanobori) ecological road and hot springs, Kunashiri Island. Biodiversity and Biogeography of the Kuril Islands and Sakhalin volume 4 (Bulletin of the Hokkaido University Museum, no. 7), 27-30.
 Kato, Y. & Sato, H. (2014) Recent Condition of the Conservation Status of the Furukamappu Mire (Lake Serebryanoye), Kunashiri Island. Biodiversity and Biogeography of the Kuril Islands and Sakhalin volume 4 (Bulletin of the Hokkaido University Museum, no. 7), 31-32.
 Takahashi, H., Fukuda, T. & Kato, Y. (eds.) (2014) Biodiversity and Biogeography of the Kuril Islands and Sakhalin volume 4 (Bulletin of the Hokkaido University Museum, no. 7).
 <野本和宏>
 Akiyama, Y., Kimura, R., Nomoto, K., Usui, T. & Machida, Y. (2013) New record of the freshwater pearl mussel *Margaritifera togakushiensis* from northern Sakhalin, the Russian Far East. VENUS 71: 191-198.
 野本和宏・照井滋晴・秋山吉寛(2013)「釧路湿原人工池におけるキタサンショウウオ卵囊双数の経年変化〜23年間(1991-2013年の調査記録)」(ポスター発表)日本爬虫両棲類学会第52回大会講演要旨集.
 野本和宏・照井滋晴・秋山吉寛(2014)「釧路市指定天然記念物・キタサンショウウオ卵囊双数長期モニタリングデータの分析」(ポスター発表)日本爬虫両棲類学会第53回大会講演要旨集.
 野本和宏(2015)「イトウの真実」. 北海道つながる海と川の生き物(川井唯史・四倉典滋編著), p112-141. 北海道新聞社.
 <高橋 勇人>
 右代啓視・鈴木琢也・藪中剛司・高橋 勇人・村上孝一・スコヴァティツィーナ, V.M. (2014) 北方四島の先史文化研究と博物館交流の基礎づくり(IV). 北海道開拓記念館研究紀要, 42:
 右代啓視・鈴木琢也・藪中剛司・高橋 勇人・村上孝一・スコヴァティツィーナ, V.M. (2015) 北方四島の先史文化研究と博物館交流の基礎づくり(V). 北海道開拓記念館研究紀要, 43:
 <澤田 恭平>
 澤田恭平(2014)「釧路の縄文晩期後半から続縄文前半の非在地産の土器について」北方島文化研究会第50回研究会発表要旨.

6.資料収集 収蔵資料状況 [新収蔵資料数] (平成27年3月現在)

区分	平成24年度	平成	平成	合計
	までの累計	25年度	26年度	
人文科学	48,435	2	0	48,437
自然科学	90,607	1,079	56	91,742
美術工芸	215	0	0	215
合計	139,257	1,081	56	140,394

7.各種事業

平成25年度

企画展

4月6日～5月6日	タンチョウイラスト展	1,781
5月11日～6月30日	私の博物館「拓殖課拓地係技術員は何をしてきたか」	2,981
5月11日～6月15日	ミニ展示「春採湖畔のサクラ」	
7月6日～9月8日	国後島の植物と自然	6,174
7月20日～11月10日	新館開館30周年記念収蔵資料展	9,286
7月24日～8月16日	まちなか企画展「くしろのじょうもん」(於市内5施設)	79
9月14日～11月10日	鳥取・湯沢の自然と歴史	3,748
11月16日～1月19日	私の博物館「ボールペンで描く駅舎たち」	2,876
1月25日～3月30日	釧路炭田の炭鉱と鉄道	3,075
2月7日～3月16日	ソチ五輪応援ミニ展示「くしろとスケート」	455

講演会

8月24日	いきもの講演会「トンボはなぜ生き残れたか？」(生方秀紀氏)	78
10月6日	講演会「鳥取地区の郷土芸能」	17
11月9日	シンポジウム「釧路市立博物館の歩みとこれから」	45
11月24日	私の博物館フロアトーク(山宮喬也氏)	24
1月12日	講演会「ジオパークと道東」(岡田弘氏)	88
2月8・15・22日・3月1・15日	学芸員トーク	200
2月9日・3月2・9・16日	鉄道と炭鉱の話を書く会(雄鉄編、国鉄編、尺鉄編、臨鉄編)	219
2月16日・3月30日	炭鉱映画祭 in くしろ2014	139

観覧会・体験講座

(* 事前申し込み・抽選 # 事前申し込み・先着)

4月21日～11月17日 計8回	春採湖畔探鳥会	191
4月20・21日	展示解説「ようこそ釧路へ」	71
5月5日	博物館で遊ぼう	184
5月11日	阿寒町遺跡探訪会	#24
5月12日	こどもバードウォッチング教室(於動物園)	#5
5月12日～9月23日 計24回	学芸員展示解説	160
5月18日～9月21日 計5回	春採湖畔草花ウォッチング	144
5月26日	釧路町森林公園探鳥会	47
6月8日～9月14日 計4回	しらべてみよう春採湖の昆虫	56
6月23日	釧路・足寄合同化石観察会	#27
7月11日	キナンベツ湿原観察会	*23
7月14日	バスで行く市内国史跡探訪会	#24
7月27・28日	おひさまゼミナール「くしろ石炭体験隊」(こども遊学館との共催)	
7月27日	夏休み親子土器づくり教室	#32
8月2日・1月10日	化石レプリカ教室	#37
8月7日	春採湖畔散策×葉っぱのボウル作り(市立美術館との共催)	#23
8月9日	みんなの社会見学「釧路エネルギーツアー」(JC釧路との共催)	*41
8月10日	堅穴まつり	44
8月25日	歴史探訪会「まちなみ散歩」	21
9月8日	新・林業基礎講座	*24
9月13日	ミュージアム・コンサート「チェロの夕べ」	58
9月28日	石炭基礎講座(於釧路コールマイン)	*20
9月29日	第24回博物館まつり	205
10月20日	30周年記念「さわって体験!考古学チャレンジ教室」	10
10月27日	30周年記念「さわってみよう?野鳥の標本」	18
11月3日	30周年記念「博物館バックヤードツアー」	22
12月27日	おそなえもちをつくろう	#88
1月11・12日	まが玉をつくろう	105
1月18日	発表会×鉄道模型運転会「釧網本線の魅力」	355
2月9日	歩くスキーで冬の湿原ハイイク(温根内ビジターセンターとの共催)	#15
3月8日	化石クリーニング教室	#14
3月22日	石炭基礎講座「鉄道編」	*25

平成26年度

企画展

4月3日～4月29日	タンチョウイラスト展	1,710
5月2日～6月15日	春採湖・再発見	3,017
6月21日～7月21日	知床の高山植物	2,610
7月16日～8月14日	まちなか企画展II「くしろの続じょうもん」(於市内5施設)	101
7月26日～10月5日	私の博物館「地図・絵はがき・観光ガイドで見る一あの日の釧路・阿寒一」	7,021
10月11日～12月21日	阿寒国立公園と硫黄鉱山	3,691
12月25日～1月18日	巡回展「北海道開拓記念館から北海道博物館へ」	974
1月10日～3月1日	移動博物館「阿寒国立公園と硫黄鉱山」(於川湯エコミュージアムセンター)	1,272
1月24日～4月5日	くしろのいきもの	3,384
2月12日～18日・20日～26日	移動博物館「鳥取・湯沢の自然と歴史」(於コア鳥取・コア大空)	543
3月7日～4月5日	移動博物館「阿寒国立公園と硫黄鉱山」(於標茶町図書館)	1,470

講演会

8月23日	私の博物館フロアトーク (岩村誠二氏)	
10月13日	硫黄鉱山の話の聞く会 (青井祐一氏)	60
11月8日	友の会講演会「釧路町海岸線のアイヌ語地名」 (中江徹氏)	63
11月23日	講演会「資源開発か自然保護か～阿寒硫黄鉱山をめぐる～」 (村申仁三郎氏)	67
1月11日	講演会「道東の『ジオ』の魅力を学ぶ」 (岡田弘氏)	81
2月15日	炭鉱映画祭 in くしろ2015	81
2月22日・3月1・8・15・22日	学芸員トーク	175

観察会・体験講座

(* 事前申し込み・抽選 #事前申し込み・先着)

4月12日～12月13日	計9回	ハーバリウム霧多布 (於霧多布湿原センター、共催)	52
4月19・20日		展示解説「ようこそ釧路へ」	98
4月20日～11月16日	計8回	春採湖畔探鳥会	190
5月5日		博物館で遊ぼう	162
5月6日		堅穴住居で屋根ふき体験	18
5月10日		標茶町遺跡探訪会	#14
5月17日～9月20日	計5回	春採湖畔草花ウォッチング	100
5月18日～9月21日	計14回	学芸員展示解説	82
5月25日		初夏の探鳥会 (於釧路町森林公園)	35
6月1日・8月31日		歴史探訪会「まちなみ散歩」	45
6月14日～9月13日	計4回	しらべてみよう春採湖の昆虫	41
6月22日		釧路・足寄合同化石観察会	#28
7月6日		霧多布湿原観察会	*29
7月19日		釧路コールマインで調べる学習 (市立釧路図書館主催)	#20
7月26日		親と子の昆虫採集・観察会 in 動物園	#35
7月27日		夏休み親子土器作り教室	#25
8月8日・1月9日		化石レプリカ教室	#21
8月9・10日		夏休み自由研究相談所	41
8月24日		モシリヤ岩跡見学会	62
9月7日		林業基礎講座	*28
9月20日		石炭基礎講座	*18
9月21日		堅穴まつり	62
9月28日		博物館まつり	132
10月26日		硫黄鉱山バスツアー「跡佐登の硫黄鉱山と釧路鉄道」	*37
12月26日		おそなえもちをつくろう	#73
1月10・11日		まが玉をつくろう	129
1月18日		絵馬づくり体験 (主催：北海道開拓記念館)	#12
2月8日		歩くスキーで冬の湿原ハイク (温根内ビジターセンターとの共催)	#17
2月21日		春採湖畔冬のいきもの観察会	23
3月7日		化石クリーニング教室	#20

8.博物館利用状況(月別入館者)

平成25年度

月	開館日数	個人					団体					有料入館者	無料入館者	総計
		大人	高校生	小中学生	55バス	計	大人	高校生	小中学生	55バス	計			
4月	25	453	11	113	0	577	0	60	0	0	60	637	381	1,018
5月	27	753	14	231	31	1,029	97	0	0	0	97	1,126	1,007	2,133
6月	26	480	6	92	5	583	132	0	84	0	216	799	1,224	2,023
7月	26	720	10	105	16	851	92	0	9	0	101	952	1,042	1,994
8月	27	1,377	22	313	17	1,729	104	0	23	0	127	1,856	1,794	3,650
9月	25	704	0	76	6	786	139	0	7	0	146	932	1,663	2,595
10月	27	473	9	55	0	537	82	24	0	0	106	63	1,064	1,707
11月	24	367	1	47	2	417	51	0	0	0	51	468	812	1,280
2月	24	211	4	33	2	250	0	0	0	0	0	250	706	956
1月	22	266	2	43	0	311	0	37	0	0	37	348	1,359	1,707
2月	23	196	6	23	6	231	15	0	0	0	15	246	871	1,117
3月	25	415	15	82	6	518	0	0	0	0	0	518	1,085	1,603
合計	301	6,415	100	1,213	91	7,819	712	121	123	0	956	8,775	13,008	21,783
対前年度	△2	479	8	△5	△5	477	△76	48	△266	△2	321	156	3,580	3,436

平成26年度

月	開館日数	個人					団体					有料入館者	無料入館者	総計
		大人	高校生	小中学生	55バス	計	大人	高校生	小中学生	55バス	計			
4月	26	405	10	106	1	522	0	52	0	0	52	574	656	1,230
5月	27	716	31	153	37	937	160	0	0	0	160	1,097	1,151	2,248
6月	25	555	5	58	5	623	101	0	105	0	206	829	1,095	1,924
7月	27	757	18	101	5	881	90	0	96	0	186	1,067	1,490	2,557
8月	27	1,327	24	258	28	1,637	4	2	25	0	31	1,668	1,675	3,343
9月	25	674	13	77	16	780	59	0	24	0	83	863	1,847	2,710
10月	27	489	8	80	10	596	240	0	0	0	240	836	1,244	2,080
11月	25	408	8	86	2	504	137	0	56	0	193	697	1,008	1,705
2月	23	231	3	25	4	263	0	0	0	0	0	263	625	888
1月	22	223	6	35	0	264	0	34	0	0	34	298	726	1,024
2月	23	251	8	22	2	283	119	3	2	0	124	407	1,178	1,585
3月	25	405	16	112	2	535	0	0	0	0	0	535	799	1,334
合計	302	6,450	150	1,113	112	7,825	910	91	308	0	1,309	9,134	13,494	22,628
対前年度	1	35	50	△100	21	6	198	△30	185	0	353	359	486	845